

## 「子どもの心を耕す」とは

全体学習（グループ活動） 20分

### 【学習のねらい】

普段の生活の中で、「子どもの心を強く豊かにする大人の言葉」と「子どもの心を育てることができない言葉」の両面を考えることを通して、子どもの心を健全に育てる大人の役割を考える。

### 【準備するもの】

ワークシート（各グループに、場面ごとに）、または模造紙、大きめの付箋（ポストイット）

### 【進め方】

- (1) 5～6人のグループをつくる。（全体学習でもよい。）
- (2) 具体場面を示しながら、「子どもの心を育てることができない言葉」にはどんなものがあるか、「子どもの心を強く豊かにする言葉」にはどんなものがあるか、話し合う。  
（書き込む、付箋を貼る）

〈具体的な場面の例〉

・遅く帰宅して、成績物を見て、部活動でレギュラーになれなかった、約束を忘れて、何かミスをして、お金をとった等。参加者からの提示も可

※比較・過保護・過干渉・男女のくせに・おどす・あなたメッセージ

例；「だめじゃないか」「だから言ったでしょ」「どうしてお前は～」など

※認める・ほめる・信頼・知識・尊重・共感・受容・傾聴・安心感・わたしメッセージ

例；「見直したよ」「やればできるじゃない」「ここが変わってきたね」「きっとできるよ」「いいぞ」「どんなふうに工夫したの？」など

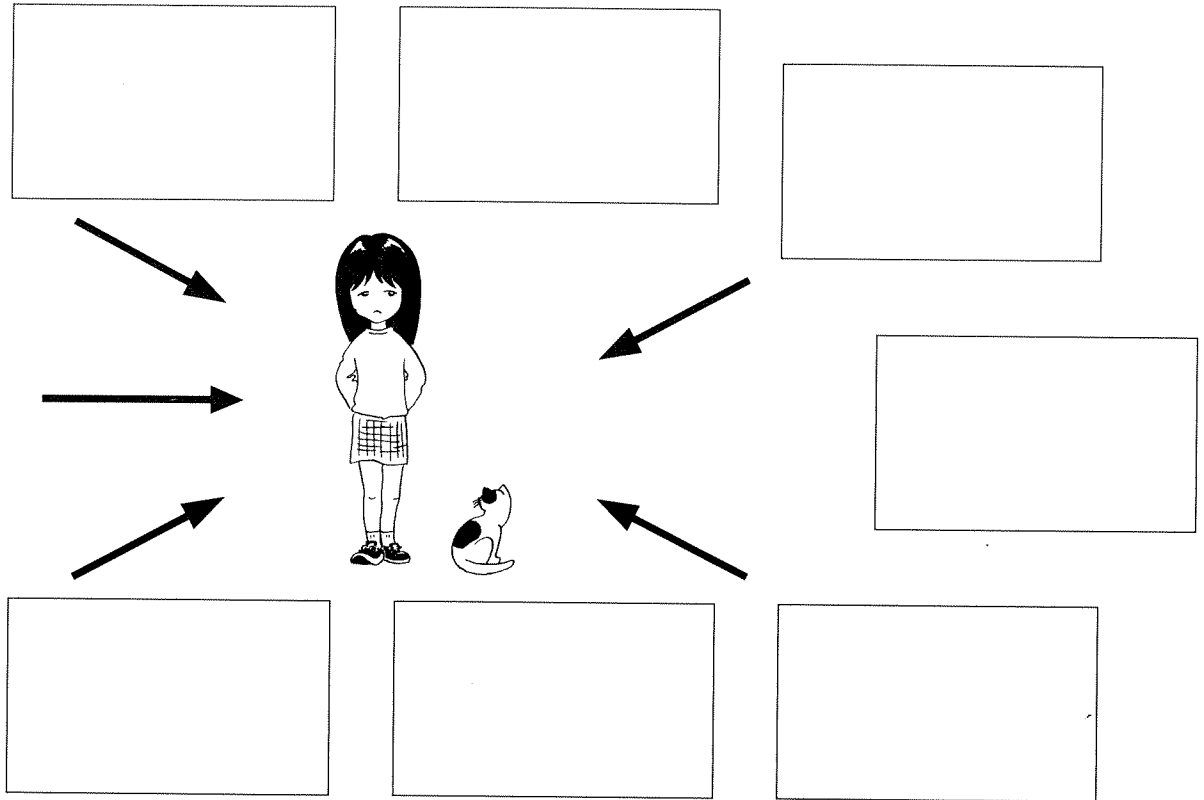
- (3) 提案された言葉を基にしなが、日頃の自分の子育てについて、意見交換をする。
- (4) 子どもの心を健全に育てる大人の役割を話し合う。
- (5) グループ活動ならば、グループごとにどんなことが話題になったかを、発表し合う。

### 【留意点】

- (1) グループ学習では、空欄の言葉を考えながら、自分の子育てについてお互いに情報交換をする時間を大切にしたい。自分を語らなければならないので、リラックスした雰囲気になるように、アイスブレイキングを取り入れながら、この学習活動に移っていくのもよい。
- (2) ファシリテーターは、参加者の子育てについて、よい点を大いに認めながら、学習のまとめとしていきたい。
- (3) 空欄は様々な案（言葉）を出してもらう。

# 「子どもの心を耕す」とは ワークシート

## 子どもの心を育てることができない言葉



## 子どもの心を強く豊かにする言葉

